



みどりの里

宇奈月小学校だより
第 10 号
平成 29 年 10 月 27 日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

伝統文化を受け継ぐ子供たち

校長 四杉 昭康

秋本番を迎え、校区の様々な地域で祭礼等が行われています。地域行事を担う青年団等の大人に混じって、子供たちが一緒に参加する姿が見られます。中には、しばらくの期間、公民館で獅子舞等の練習に取り組み、当日は大人と共に一軒一軒回って踊る子供も大勢います。

10月5日は、市の無形民俗文化財にも指定されている「愛本新用水松明（たいまつ）祭」を間近で参観しました。十六夜（いざよい：十五夜の翌日）の月に照らされて、大松明（長さ約5m、重さ450kg）2基に火が灯され、大勢の担ぎ手によって（時の加賀藩主、前田治脩をまつった）天満宮まで担ぎ運ばれる様は荘厳で勇壮なものです。元々は、愛本新と舟見野台地に水が引かれたことを喜び、松明をかざして迎えに行ったのが始まりだそうです。近所の子供たちもこの祭に参加し、小松明を運んだり、大松明と共に練り歩いたりする役割を果たしていました。松明祭に参加した子供たちは、この伝統文化の素晴らしさと共に、それを受け継ぐことの大切さを実感しているものと思います。



勇壮な愛本新用水松明祭

（参考：「追録 宇奈月町史 文化編」）

宇奈月温泉地区は10月7日、内山地区は10月14日、栃屋地区は10月15日にそれぞれ獅子舞がありました。各地域では青年団を中心に天狗や獅子に扮して各家庭を回りますが、それぞれの地域で、子供たちは大活躍です。早朝から、あるいは前日からの日程で、地域を挙げた大イベントになっています。印象的なのは、どの地域へ行ってもお年寄りの方々が獅子舞等で活躍する子供たちの姿を見て、実に嬉しそうな表情で見守り、祭を楽しみにしている様子が伝わってくることです。少子高齢化時代を迎え、子供たちはまさに「地域の宝」であり、地域を支える担い手となって逞しく成長してほしいと思います。



獅子舞に参加する子供たち（内山地区）

4月の「明日の稚児舞」や6月の「愛本姫社まつり」等でも、子供たちは伝統文化・行事を支える地域の一員として活躍しています。宇奈月地区全体を見ると、一年を通して実に数多くの特色ある伝統文化・行事が行われていると感じます。こうした伝統文化・行事等は、地域の貴重なシンボルではありますが、守り続けていくことの苦労が推察されます。今後も、地域にとってかけがえのない魅力あるものとして、継続・発展していくことを願うばかりです。

さて、いよいよ各地区の公民館祭りも始まりました。学校では、子供たちの作品展示やクラブ活動発表等で参加することになっています。地域の様々なイベントに関わりながら、郷土に愛着の念と誇りを持ち、学校だけでなく地域でも活躍する子供であってほしいと思います。そして、年度当初にもお伝えしたように、学校・家庭・地域の総力（オール宇奈月）で、子供の健やかな成長を実現していきたいと思ひます。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

学校が隅々まできれいになりました……PTA美化活動より

9月24日(日)のPTA美化活動では、多くの子供たちや保護者の皆様、教職員を合わせて300名余りに参加していただき、校舎だけでなく、グラウンドやビオトープ等、学校内外の隅々まで大変きれいになりました。おかげで美しく清潔な環境の中で教育活動ができることをとてもありがたく思います。ご多用の中、多くの方に熱心に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。



ピロティも美しく



ビオトープ周辺もすっきりと



各階フロアの隅々まで

自然に親しみ、仲間との絆を深めて……6年宿泊学習より

10月3～4日の1泊2日の日程で、6年宿泊学習を行いました。1日目は小雨模様で、立山カルデラ砂防博物館の見学と国立立山青少年自然の家周辺での「ポイント探し」を行いました。夜は、雨のためキャンドルサービスに変更しました。2日目は、ひょうたんクラフトと野外炊飯でカレーライスに挑戦しました。さすがは6年生、昨年までの経験を生かし、規律ある集団生活を実践する態度や仲間との協働意識をさらに高めることができました。小学校生活の思い出がまた一つ増えました。

野外炊飯では、野菜を切ったり、火を起こしたりと、分担協力してできたカレーライスはすごくおいしかったです。家では時々しか食事の手伝いをしないので、これから手伝う日を多くしようと思いました。この宿泊学習では、友達と協力したり助け合ったりして、友達との絆を深めました。また、ポイント探しなどを通して、最後まであきらめない心も身に付いたと思います。この経験を、これから友達が困っていたら助けたり、スポーツ少年団の活動に生かしたりしていきたいです。(6年A児)

ポイント探しでは、険しい山道に入って足が痛くなりましたが、グループのみんなは待ってくれたり、一緒に歩いてくれたりしてとても心強かったです。ポイントも全部見つけることができ、感動しました。助け合うことや声をかけ合うことが大切だと思いました。キャンドルサービスでは、グループ発表の「こわい話」で、先生がこわい顔の仮面をかぶって出てきたとき、本当にこわくて「キャー、キャー」と言ってしまいました。後で、とてもおかしくて友達と笑い合いました。(6年B児)



米づくりの大変さを実感しました・・・5年稲刈り体験より

J Aくろべのご協力を得て、5年生が稲刈りを体験しました。春に植えた稲の苗が大きく成長し、たわわに実った稲穂を見ると、自然の恵みに感謝するとともに、米づくりの大変さを感じます。子供たちは、春には田植機に乗車させていただきましたが、この稲刈りでは大型コンバインにも乗車させていただきました。米づくりの苦労や農業の機械化等について体験を通して学んだ一時となりました。また、おいしいおにぎりもいただき、子供たちはとても満足していました。



米は八十八の手間をかけて・・・



一株一株丁寧に刈り取るね



大型のコンバインは、スゴイ！

「さあ、宝島に出発だ！」・・・第12回市小学校音楽会より

10月20日（金）、黒部市国際文化センター「コラーレ」で、第12回黒部市小学校音楽会が開催されました。本校にとっては、今年は2年に一度の発表の年であり、5・6年生が運動会後に本格的に練習に取り組み始めました。発表内容は合唱曲「宝島」で、本番ではこれまでの練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい出来映えになりました。他校の教職員からも「オペレッタ風の表現が素晴らしかったですね」と好評でした。練習では、黒田眞由美先生や追分結先生にも何度も来校して指導していただき、その成果を発揮することができました。

なお、この発表は、1～4年生に対しては11月の音楽集会で、保護者の皆様には11月18日（土）のフリー参観日に、本校体育館で披露することになっています。

練習のときよりも上手に発表でき、本当にみんなで「宝島」へ向かっているような気持ちになりました。他の学校の発表では、村椿小学校の合奏で、最初の鉄琴がオルゴールのようですてきな演奏だと思いました。鑑賞のピアノ演奏「子犬のワルツ」では、間部先生の演奏は、手首は動かず指だけが速く動いているようで、すごいと思いました。（5年C児）

今まで一生けん命頑張って練習したかいがあって、一番よい合唱になったと思いました。1部と2部に分かれるところもしっかり歌うことができ、3部に分かれるところも自分のパートの音程を守ることができました。緊張はしたけれど、最高の「宝島」になったと思いました。とても楽しい音楽会になり、来年も楽しみです。（5年D児）



心をつなげて、ハーモニーを響かせた5・6年生の合唱曲「宝島」

その他の学校生活から



4年社会科 宮沢清掃センター見学



2年生活科 秋の町探検（宇奈月温泉）



1年図画工作科 「どうぶつむらのピクニック」



第2回小中交流あいさつ運動

お願い！……お子さんを車で送迎される保護者の皆様へ

先日お知らせしましたように、校舎南側を流れる舟子川の水を利用した小水力電力発電所の建設工事に伴い、車両の通行規制が始まっています。その規制に合わせて、自転車通学の宇奈月中学生も、通学経路を変更することになりました。一部の区間では、登校する小学生と自転車通学の中学生が歩道を共有して通行しています。そのため、歩道を通行する際は、歩行者（小学生）は歩道の路肩側を、自転車（中学生）は歩道の車道側を通行するように、小中学校連携して指導しています。安全に十分気を付けるように指導しておりますが、家庭でも一声かけてくださいますようお願いいたします。また、お子さんを学校まで自家用車で送迎される（特に朝、雨天時が混み合う）場合に、小学校駐車場の出入り口では、くれぐれも歩行者の小学生や自転車の中学生にご注意ください。



県道から駐車場へ進入する際

歩道を通行する小学生と自転車の中学生に気を付けて！入口付近での停車は避け、できるだけ駐車場の中ほどまで進んで停車してください。



駐車場から側道、さらに県道へ出る際

グラウンドの側道を自転車の中学生が通行します。さらに県道に出る際は、歩道を通行する小学生と自転車の中学生に気を付けてください。